

【長崎と五島列島を巡る巡礼の旅】 カトリック本所教会(東京) 沖島 敏子

2026年3月24日(火)～27日(金)…東北組は28日(土)まで

この度、四旬節に長崎と五島列島巡礼の旅、しかも神父様同行という贅沢な旅に参加させていただき、本当にありがとうございました。この嬉しい案内は、毎月届く「盛岡上堂教会便り」と一緒に同封されてきました。送り主は、佐藤あつみさん。私の心の友、横須賀の高校・看護学校の同級生です。私の所属するカトリック本所教会の守護聖人は、日本 26 聖人です。毎年 2 月 5 日の「日本 26 聖人祭」では遠方からも多くの方々がみえて、盛大なミサと祝賀会が催されます。26 人の殉教者に想いを馳せる時、一度は西坂殉教地を訪れて、静かな祈りを捧げたいという想いがありました。今回の旅で願いの叶うことを知り、即刻に申し込みをしました。

五島列島は福江島・久賀島・奈留島・若松島・中通島という主な 5 つの島があり、その由来で五島列島と呼ばれています。今回は、福江島・久賀島・中通島に下船し、13 の教会を巡りました。ギャリー神父様によるミサは 4 回。あつみさんのご主人佐藤光さんの引率で、東北方面から参加された方々のご奉仕でミサの進行もスムーズでした。オルガニストの※①佐々木いづみさんの伴奏に合わせて気持ち良くマリア様の歌を口ずさむことができたことも大きな喜びです。24 日は、西坂殉教地→→26 聖人記念館→→サント・ドミンゴ教会跡資料館→→聖フィリポ教会→→中町教会で 1 回目のミサ。東北方面から参加された 8 名の方々と合流して、旅の安全と実りをお祈りしました。晴天でした。

25 日は、堂崎教会（禁止令廃止以降五島列島で最初に建てられた聖堂。五島キリシタン受難と勝利のシンボル。巡礼パンフレット表紙の教会）→→水ノ浦教会（レースをまとったような木造の白い教会）→→楠原教会（楠原牢屋跡）→→牢屋の窄記念聖堂(2 回目のミサ)→→旧五輪教会(世界遺産)でした。一日中雨と風。

26 日は福江島西の端、小高い丘の上に建つ井持浦教会(日本最古のルルド)での野外ミサ。フランス巡礼で見たルルドの記憶が蘇ってきました。井持浦教会の信徒の方と協力し、手早く祭壇を整えることが出来たのもお恵みでした。→→浦頭教会(コンタツ堂)お告げのマリア修道会のシスターの巡礼者への感謝のお言葉に感激し涙がこぼれました。→→鯛の浦教会(ガイド・世話人の中田定氏の奉仕した教会)は、季節の花々と枝が折れそうなほどたわわに実を付けたミカンの木は、中田氏とお父様が植えたそうです。1 つ頂いて宿で味見。甘味は少ないですが、水分多くジューシーでした。ブレル神父様・ヨハネ五島・上五島キリシタン指導者、森松次郎氏の銅像も印象的でした。→→仲知教会。ここは、前田万葉枢機卿様の出身教会です。色鮮やかなステンドグラスに圧倒されました。この地域に住む多くの方はカトリック信者で、信者たちの多額の拠出と労働奉仕により作られた教会だそうです。ステンドグラスには聖書の場面が描かれ、イエスが漁師を弟子とする場面では、当時信者の中心として建設に関わった住民も描かれていました。

27日は、頭ヶ島教会(世界遺産)。石造りの教会で2001年、国の重要文化財に指定。無人島のこの島に迫害を逃れ移住。全員幽閉されるも脱出し、解禁後は再び島に戻り、最初木造の教会を建設しています。現在の頭ヶ島教会は、世界遺産に登録されるだけの貫禄、聖堂の隅々まで美しさに満ちた教会でした。→→青砂ヶ浦教会(最後のミサ・巡礼証明書交付)はあつみさんご両親の思い出の教会です。※③新田原でお世話になったあつみさんのお母様の姿や言葉は、故郷の母の言葉とだぶり感謝の涙がこぼれました。ギャリー神父様のミサ説教も最後が一番分かり易くて良かったです。(笑)→→車窓より中の浦教会を見て、奈良尾港から長崎へ。東北組の方々とはここでさよならでした。お世話になりました。

13の全ての教会で感じたことは、掃除が行き届いており、信徒の祈りの場になっていること。指定席もあり、自分の教会意識の強さです。教会収入を得るために、それぞれの教会で工夫されているのも勉強になりました。特に印象深く思い出に残った教会は、一番最初に訪れた聖フィリポ教会と最後に訪れた頭ヶ島教会です。聖堂の美しさに感動しながら静かに祈ることができました。雨と時折台風並の強い海風が吹く中、足場の悪い山道を歩いて行った旧五輪教会は牢屋で生き延びた人たちが建てた教会です。42名の亡くなった一人ひとりの御霊に報いるべき衝動に突き動かされてこの教会を建てたように思いました。石碑に刻まれている言葉に私もゆるぎない信仰を持てるようにと祈りました。悪天候の中、何よりも全員が無事にバスに戻れたのは神のご加護だと思います。

実は、この巡礼の旅に出かける前日に、夫の『癌転移』を医師に告げられ、ショックのまま出掛けた旅でしたが、私も主人も多くのお恵みをいただきました。初めて訪れる教会での「お願い事」は叶うという伝えを信じ、主人の健康をひたすら祈りました。そして、私に主人を支える力を与えて下さいと。

旅の最終日、青砂ヶ浦教会で祭壇に一番近い席に座り、声も大きくミサに応じている主人の姿に、今回の巡礼の大きなお恵みを感じました。教会から遠ざかっていたとは思えないほどの記憶力でした。※②佐野千恵子さんは暗い表情の主人を気遣ってくださって積極的にお声をかけて下さり、一緒に写真を撮ったり、同じテーブルで佐野さんのご主人も一緒に4人でお食事もして下さいました。そのお心遣い、嬉しく有難いことでした。

今は抗がん剤の点滴治療中ですが、仕事にも行けていますし、幸い、4月3日の採血結果で腫瘍マーカー値が137→37となり、少しの笑顔のみられる主人です。

ギャリー神父様はじめ一緒できた巡礼者の皆様、本当にありがとうございました。

ガイド役の中田定様、佐藤光様にも御礼申し上げます。

五島列島の豊かな自然、リブ・ブオールト天井の技術を活かした美しい教会は、脳裏に焼き付いています。食事も宿も満足でした。コンタツ(五島ではロザリオのこと)堂で頂いた干し芋、最後に食した五島うどん、そして五島牛は格別でした。主人が元気になったらもう一度ゆっくり五島列島を旅してみたいです。願いが叶いますように！神に感謝！

✚※①の佐々木いづみさんは、仙台八木山教会でオルガニストをなさっております。娘さんと一緒に、早い段階での申込でした。今回の巡礼では大事な役どころをお努め下さり、聖歌とオルガンは皆さんが一樣に心打たれたとの感想でした。また、娘さんには聖書朗読奉仕を頂き、ありがとうございました。佐々木さん母娘のいつも明るい雰囲気は佐藤はじめ、お疲れの皆さんのいい意味で活力剤になったと佐藤が感謝しておりました。

✚※②の佐野千恵子さんご夫妻は、島根の松江教会からの参加でした。ギャリー神父様からのご紹介でパンフレットを送らせていただきましたが、ギャリー神父様とは助祭時代からのお知り合いで、叙階式にもフィリピンまでご夫妻で参加されたそうです。巡礼中、沖島さん夫妻に寄り添い続けて下さいましてありがとうございました。

✚私の母が独身の頃、オルガニストをしていた青砂ヶ浦教会では、両親のためにミサ意向をお願いし、皆さんに祈って頂きました。特に沖島さんは、看護学校時代、夏冬休みに奄美大島に帰省する際に、福岡県の※③新田原の我が家に立ち寄り、母とも顔見知りでしたので尚の事、涙を流して下さったのでしょう。沖島さんは、10年前にフランス・ルルド巡礼にもご主人と参加下さり、ご一緒しました。その後、私の担当する教会報で月に1回繋がり続けており、今回の巡礼記も10代の頃からのよしみで、ご主人のご病気のことは知らずにお問い合わせしてしまいましたが、しっかりと現実と向き合うべく勇気を出してお話し下さり、寄稿下さいました。心より感謝申し上げます。

✚前田万葉枢機卿様ご自身の沖知教会では、私達夫婦が四ツ家教会で事務室当番をしている頃に、知り合いになった枢機卿様の妹さんご夫妻が、巡礼出発前の3/22(日)に、合同ミサであった志家教会にお訪ね下さり、ご実家に是非お立ち寄り下さいと案内されておりました。時間の関係で、佐藤光が一人で記念館とご実家に伺い、妹さんにご挨拶し、急坂を下って汗をかいていた主人を車で皆さんがいる沖知教会まで送って下さったそうです。お世話になりました。いつかゆっくり主人と訪ねられたらと思います。

✚今回の長崎・五島列島巡礼では、大阪巡礼センターより、ライブ的に私の元に、写真が送られてきましたので、私自身も皆さんと一緒に巡礼させて頂いてる気分でご難かったです。個人情報もあり集合写真は掲載を控えますが、悪天候で雨・強風もあった中、皆さんが協力し合って大変そうな方をサポートして下さい、この巡礼が成功裡に終えることが出来たと佐藤の報告でした。巡礼のあるべき姿に感謝申し上げます。

✚印の付記：佐藤あつみ

